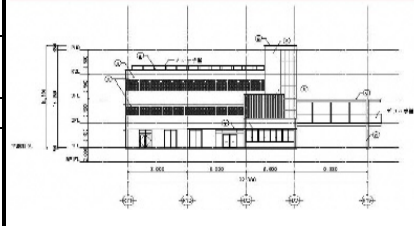




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	AGC旭硝子浜浜工場 新研究棟等建設工事 新厚生棟	階数	地上3階
建設地	横浜市鶴見区末広町1丁目1番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年12月 竣工	評価の実施日	2020年12月15日
敷地面積	4,708 m ²	作成者	株式会社類設計室
建築面積	964 m ²	確認日	2020年12月15日
延床面積	2,699 m ²	確認者	新川 啓一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9</p> <p>★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ B: ★ ★ C: ★</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>標準計算</p> <p>30%: ★ ★ ★ ★ ★ 60%: ★ ★ ★ ★ 80%: ★ ★ ★ 100%: ★ ★ 100%超: ★</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境 4</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) 3</p> <p>LR1 エネルギー 2</p> <p>LR2 資源・マテリアル 1</p> <p>LR3 敷地外環境 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>本工場への訪問者入場対応等を行う保安棟と社員の更衣等のための厚生棟として計画。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>ホルムアルデヒド及びVOCの放散量が少ない内装仕上材を使用する。また、更衣を行うロッカー室は、ハイサイドに窓を設置し、可能な限り明るい空間としている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐震構造として耐震安全性を確保している。窓ガラスは遮熱ガラス(Low-Eガラス)の複層ガラスとして、空調負荷低減と同時に快適な空間となるよう計画している。保安棟は工場敷地入口に對面し、訪問者から最も視認しやすい位置に配置している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地入口から本建物にアプローチする屋外空間は、顧客に視認しやすい位置とし、同時に駐車場を整備している。歩道を分離し安全を確保すると同時に、緑化を行い豊かな外構空間を計画している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>ロッカー室、廊下、トイレは人感センサー制御として、照明等の無駄な電力消費を抑制する計画としている。全館LED照明として消費電力を削減、長寿命化で維持管理費を削減する計画としている。また、衛生設備は節水器具・自動水栓とし、水消費を抑制する計画としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>衛生設備は節水器具・自動水栓とし、環境に配慮するとともに、使用者が使いやすいようにする。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



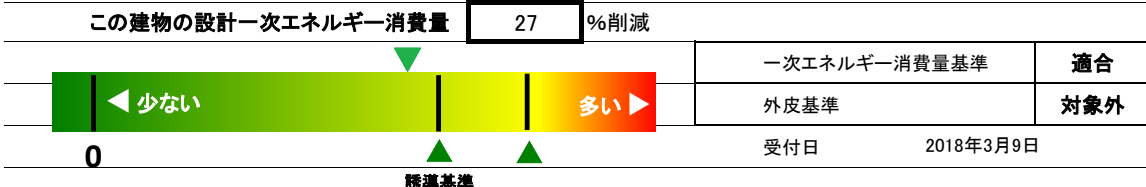
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **AGC旭硝子京浜工場 新研究棟
等建設工事 新厚生棟**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性の高いALC板を外壁とし、開口部は遮熱(Low-E)複層ガラスとしている。

③空調室外機には高効率タイプを用いる。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪十分な空調換気設備能力を確保し、社員が快適に執務できるようにしている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰屋外鉄骨の亜鉛めっき材、外壁吹付材のフッ素樹脂上塗り材等、耐用年数の高い計画としている。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入